

船橋お散歩海道の整備

【支援金確定額：126,810円 支援率：50%】

取材日：平成23年（2011年）10月15日

■どのような活動をされていますか？

ふなばしっふ海遊創生協議会は、東京湾に残された貴重な浅瀬の三番瀬と船橋漁港を、船橋の歴史文化を象徴する場として捉え、漁港周辺のみならず町景観づくりと商工振興を目的に、平成21年1月に設立された団体です。

活動内容は、①地産地消による地域循環モデルの構築と地域特産品の開発・販売、②船橋産が手に入り、味わうことのできる漁港市の創出と海のまちを体感できる仕掛けづくり、③海浜保全活動の普及及びCSRの促進です。



ウォークラリー後のアンケート調査

■支援金をどのように活用されますか？

昨年に続き2回目の支援金事業となりますが、市民や来訪者が漁港エリアの歴史や文化に触れながら、楽しく散歩できる「船橋お散歩海道」を整備し、みなと町を肌で感じることができるとの情報を提供やイベントを継続的にしています。

その内容は、①船橋駅から漁港までのウォークラリー「船橋お散歩海道」を、毎年10月の「ふなばし港まつり」と同時開催する。②漁港エリアの市民向け情報提供として、周辺で活動する諸団体、まち探検企画、船橋産の地産地消などの情報を、ホームページを通じてPRしていくことです。



船橋お散歩海道マップ

■今後の活動の抱負を教えてください。

昨年度の活動を通して、地元自治会や小学校との繋がりを作ることができました。今年も港まつりで行われるウォークラリーやまち探検イベントを行うなかで、漁港エリアで活動する団体同士が協力し合える体制を築いていきたいと思えます。また、多くの市民の関心や協力を得る様々なきっかけづくりを行いながら、この「船橋お散歩海道」プロジェクトの成功に向けて頑張っていきます。

今後は、関係団体はもとより、関係自治会、行政等との繋がりをさらに密にして、地域の連携・地域福祉への貢献へと結びつく継続的な活動を進めていきたいと関係者一同張り切っています。

～取材を終えて～

協議会は、みなと祭りに合わせてウォークラリーを行いながら、事業の推進に向けた活動を精力的に行っています。昨年に引き続きの参加でしたが、雨模様の荒天の中、関係者の活動・努力等を伺って、本事業がその実現に向けて、着実に前進していることを肌で感じることができました。

これからの最大の課題は、三橋代表も話されていたように、漁業関係者、地元自治会、商店街、関係市民団体並びに行政当局との緊密な連携と協力づくりをいかに構築していくかではないかと思われます。協議会を中心に様々な困難を乗り越え、「船橋お散歩海道」の整備が船橋の活性化の起爆剤につながることを期待しています。

■関わり先（連絡担当者）：事務局 小野寺 淳（おのでら あつし）

TEL：080-4000-6987